

平成31年度
下松市当初予算（案）の概要
（記者発表資料）



下 松 市
平成31年2月

目 次

I	当初予算編成の考え方	1
II	当初予算の概要	2
1	当初予算の規模	2
2	歳入の状況	3
3	歳出の状況	4
III	新年度主要施策の概要	
1	健康福祉	6
2	生活環境	7
3	都市建設	10
4	産業経済	12
5	教育文化	14
6	地域経営	17
IV	各種指標	19

～別 添～

平成31年度施政方針

平成31年度予算書

平成31年度予算説明資料

I 当初予算編成の考え方

わが国の経済の先行きは、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、月例経済報告では緩やかな回復が続くことが期待されております。しかし、通商問題をはじめとする海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等、さらに、度重なる災害による経済への影響は、今後も注視が必要であると考えております。

国においては、デフレからの確実な脱却、経済再生と財政健全化の双方の同時実現、さらに、人づくり革命と生産性革命を車の両輪として、人口減少や少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、「新しい経済政策パッケージ」及び「人づくり革命基本構想」を円滑に実行するとともに、喫緊の課題である防災インフラ等への対応として「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が進められます。

本年度は、消費税増税など、国税の改善傾向を背景に地方の一般財源は確保されるものの、本市の市税や地方交付税を含めた一般財源は依然として厳しい見通しにあります。

さらに、子育て・教育環境の充実など、市民需要は多様化・複雑化する中で、扶助費等の増高や地域課題の対応には、持続可能な行財政運営を図る観点からも行財政改革の推進や、税源涵養^{かんよう}等、新たな財源確保に向けて不断的努力が必要と考えております。

こうした中、任期の最終年度にあたり、「総仕上げ」の年と位置付け、就任以来最重要政策と掲げてきた「安全・安心対策」、「魅力づくりの創出」をより一層施策に反映することとし、全ての世代にわたり「住みよさ」と「満足度」を実感できるまちの創生に確実に繋げてまいります。

市制施行80周年を迎え、節目の年にふさわしい、市の新たな魅力の発信や、賑わいの創出を市民協働で進めてまいります。

基本姿勢である「自主・自立のまちづくりの市政運営」と「身の丈に合った健全財政」を堅持しつつ、事業の必要性や効果、優先度等を見極め、行政コストの低減や財源の捻出を図り、多様な行政ニーズに的確に対応した諸施策を積極的に進めてまいります。

平成31年2月4日

下松市長 國 井 益 雄

Ⅱ 当初予算の概要

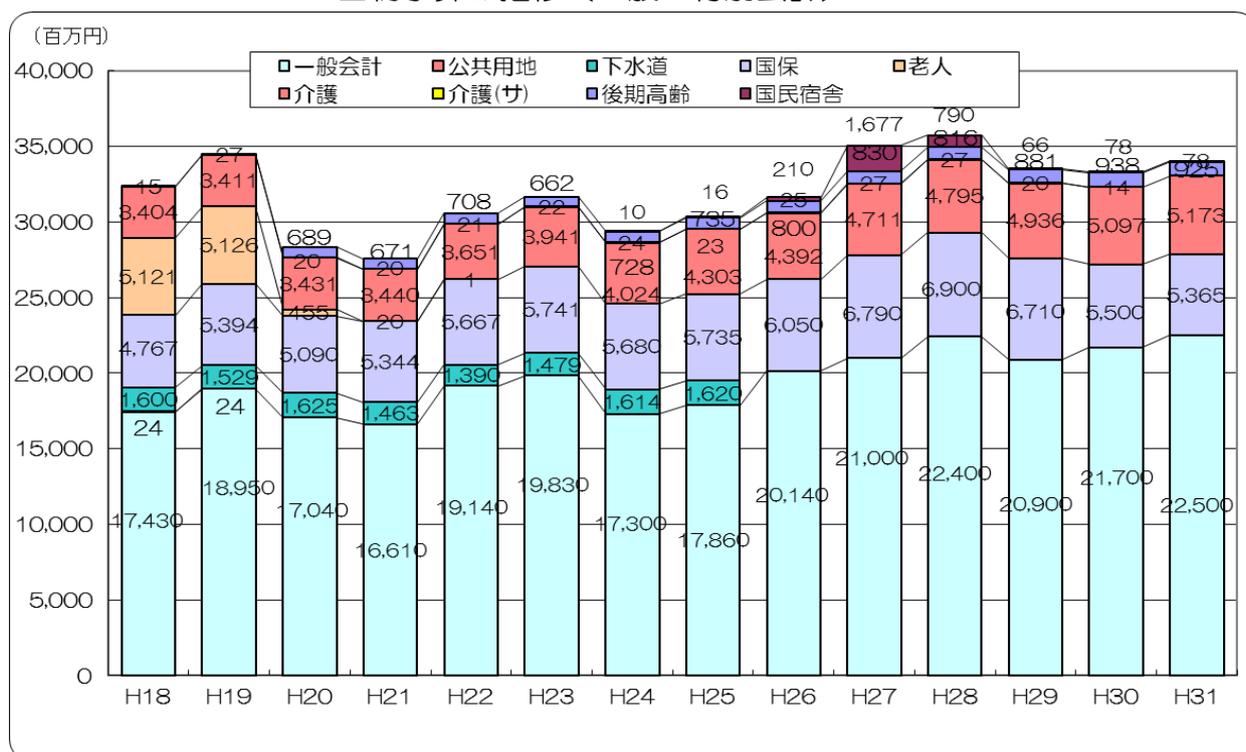
1 当初予算の規模

一般会計の予算規模は、225億円、特別会計115億4,100万円、企業会計51億5,362万5千円となり、一般会計は3.7%の増、特別会計は0.7%の減、企業会計は2.0%の増となっております。

当初予算の推移（一般・特別会計）（単位：千円、%）

		平成31年度	平成30年度	対前年増減	前年比
一般会計		22,500,000	21,700,000	800,000	3.7
特別会計		11,541,000	11,627,000	▲ 86,000	▲ 0.7
内 訳	国民健康保険特別会計	5,365,000	5,500,000	▲ 135,000	▲ 2.5
	介護保険特別会計	5,173,000	—	5,173,000	皆増
	介護保険（保険事業）	—	5,097,000	▲5,097,000	皆減
	介護保険（サービス事業）	—	14,000	▲14,000	皆減
	後期高齢者医療特別会計	925,000	938,000	▲ 13,000	▲ 1.4
	国民宿舎特別会計	78,000	78,000	0	0.0
合 計		34,041,000	33,327,000	714,000	2.1
企業会計		5,153,625	5,052,145	101,480	2.0
内 訳	水道事業会計	2,093,379	2,321,961	▲ 228,582	▲ 9.8
	工業用水道事業会計	216,777	233,164	▲ 16,387	▲ 7.0
	簡易水道事業会計	27,218	26,590	628	2.4
	公共下水道事業会計	2,816,251	2,470,430	345,821	14.0

当初予算の推移（一般・特別会計）



2 歳入の状況

歳入では、市税収入は、平成30年度の予算とほぼ同額を見込んでおり、地方消費税交付金などの増加があるものの、そのほかについての伸びは鈍化しております。

一般財源確保の厳しさは依然続くものと予想されますが、財政調整基金の取崩し等で一般財源総額を確保しております。

なお、各種事務事業を効率的かつ効果的に実施するため、現時点で見込みうる財源を予算計上しております。

＜一般会計款別予算＞		(単位：千円、%)					
区 分	平成31年度		平成30年度		比較		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	伸率	
市 税	9,340,300	41.5	9,340,400	43.0	▲ 100	▲ 0.0	
地 方 譲 与 税	148,900	0.7	148,000	0.7	900	0.6	
利 子 割 交 付 金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0	
配 当 割 交 付 金	23,000	0.1	23,000	0.1	0	0.0	
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0	
地 方 消 費 税 交 付 金	1,000,000	4.4	920,000	4.2	80,000	8.7	
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0	
自 動 車 取 得 税 交 付 金	22,000	0.1	30,000	0.1	▲ 8,000	▲ 26.7	
自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	8,000	0.0	0	0.0	8,000	皆増	
地 方 特 例 交 付 金	56,000	0.2	50,000	0.2	6,000	12.0	
地 方 交 付 税	1,450,000	6.4	1,300,000	6.0	150,000	11.5	
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	7,500	0.0	7,500	0.0	0	0.0	
分 担 金 ・ 負 担 金	236,364	1.1	230,019	1.1	6,345	2.8	
使 用 料 ・ 手 数 料	166,240	0.7	175,284	0.8	▲ 9,044	▲ 5.2	
国 庫 支 出 金	3,449,107	15.3	3,064,429	14.1	384,678	12.6	
県 支 出 金	1,594,278	7.1	1,398,430	6.4	195,848	14.0	
財 産 収 入	27,090	0.1	40,053	0.2	▲ 12,963	▲ 32.4	
寄 附 金	17,930	0.1	16,790	0.1	1,140	6.8	
繰 入 金	1,632,479	7.3	1,759,280	8.1	▲ 126,801	▲ 7.2	
財政調整基金	800,000	3.6	810,000	3.7	▲ 10,000	▲ 1.2	
減債基金	311,304	1.4	214,424	1.0	96,880	45.2	
その他特定目的基金	521,175	2.3	734,856	3.4	▲ 213,681	▲ 29.1	
諸 収 入	833,412	3.7	839,515	3.9	▲ 6,103	▲ 0.7	
市 債	2,468,400	11.0	2,338,300	10.8	130,100	5.6	
通常債	1,918,400	8.5	1,488,300	6.9	430,100	28.9	
臨時財政対策債	550,000	2.4	850,000	3.9	▲ 300,000	▲ 35.3	
合 計	22,500,000	100.0	21,700,000	100.0	800,000	3.7	
自主財源	12,253,815		12,401,341		▲ 147,526		
依存財源	10,246,185		9,298,659		947,526		
自主財源比率	54.5%		57.1%		▲2.6%		

3 歳出の状況

歳出では、扶助費や公債費など義務的経費の増加に加え、子育て・教育環境整備などに伴う補助費等や普通建設事業費も増大しております。

本年度は、「安全・安心対策」、「魅力づくりの創出」をより一層進めるとともに、市制施行80周年にあたり、市の新たな魅力の発信や、更なる賑わいの創出に向けて取り組んでまいります。

公共施設の維持管理、改修や建替えなど、行政需要は年々拡大傾向にあり、今後更なる財政負担が予測されるため、継続的で健全な財政運営に努め、多様化する行政需要に対し柔軟かつ迅速に対応できる行財政基盤を構築してまいります。

- ・人件費は、職員数や退職者の増及び人勤に伴う給料・職員手当の増等により増額（1億円）となっております。
- ・扶助費は、子育て関連経費の増等により増額（0.7億円）となっております。
- ・公債費は、大型プロジェクト等の推進に伴う償還の開始により増額（0.3億円）となっております。
- ・投資的経費は、栽培漁業センター建設事業をはじめ認定こども園及び民間保育園建設補助事業、第2花岡児童の家建設事業、大海線道路新設事業、中部土地区画整理事業、旗岡住宅建設事業、はしご付消防自動車購入、下松小学校建設事業（第2期工事）、中村小学校屋内運動場建設事業、笠戸公民館建設事業、下松スポーツ公園体育館空調設備整備事業などにより、増額（4.9億円）となっております。

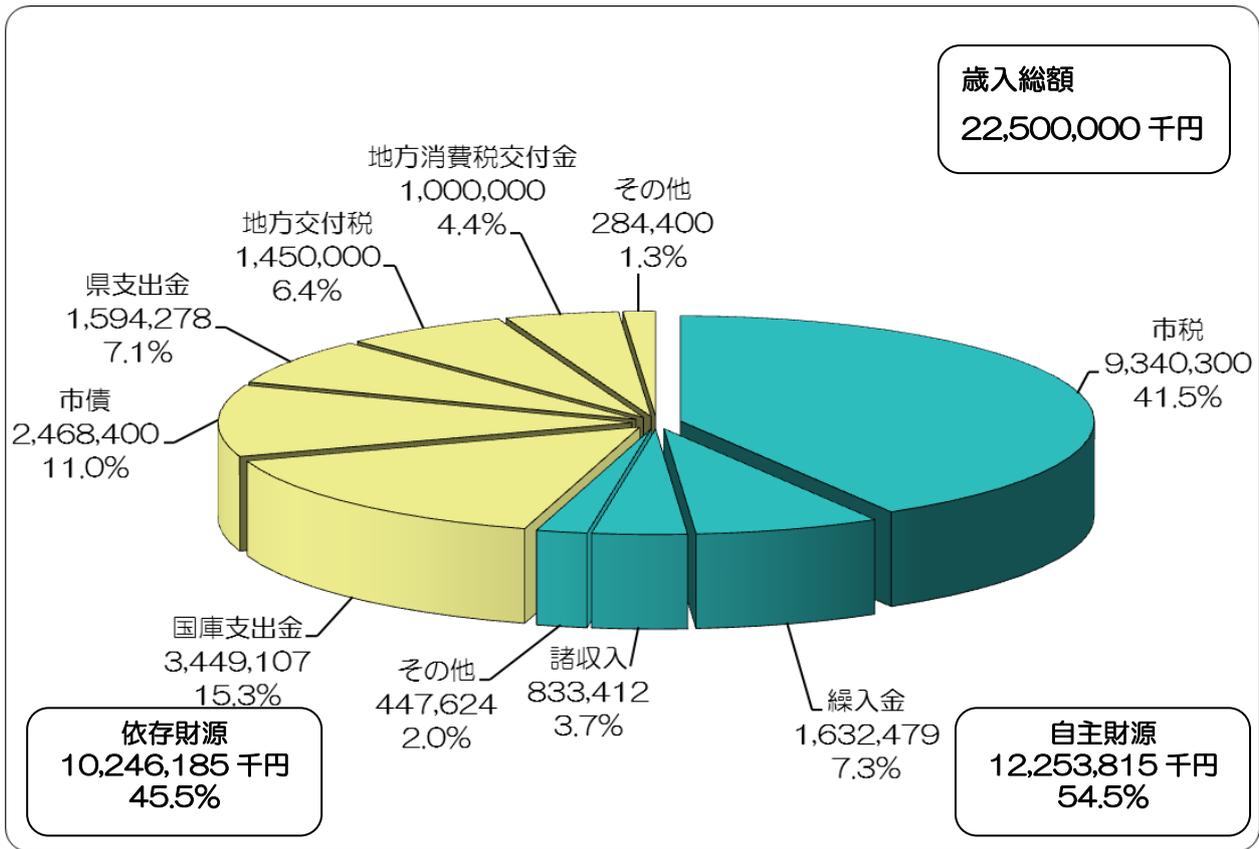
<一般会計性質別予算>

（単位：千円、％）

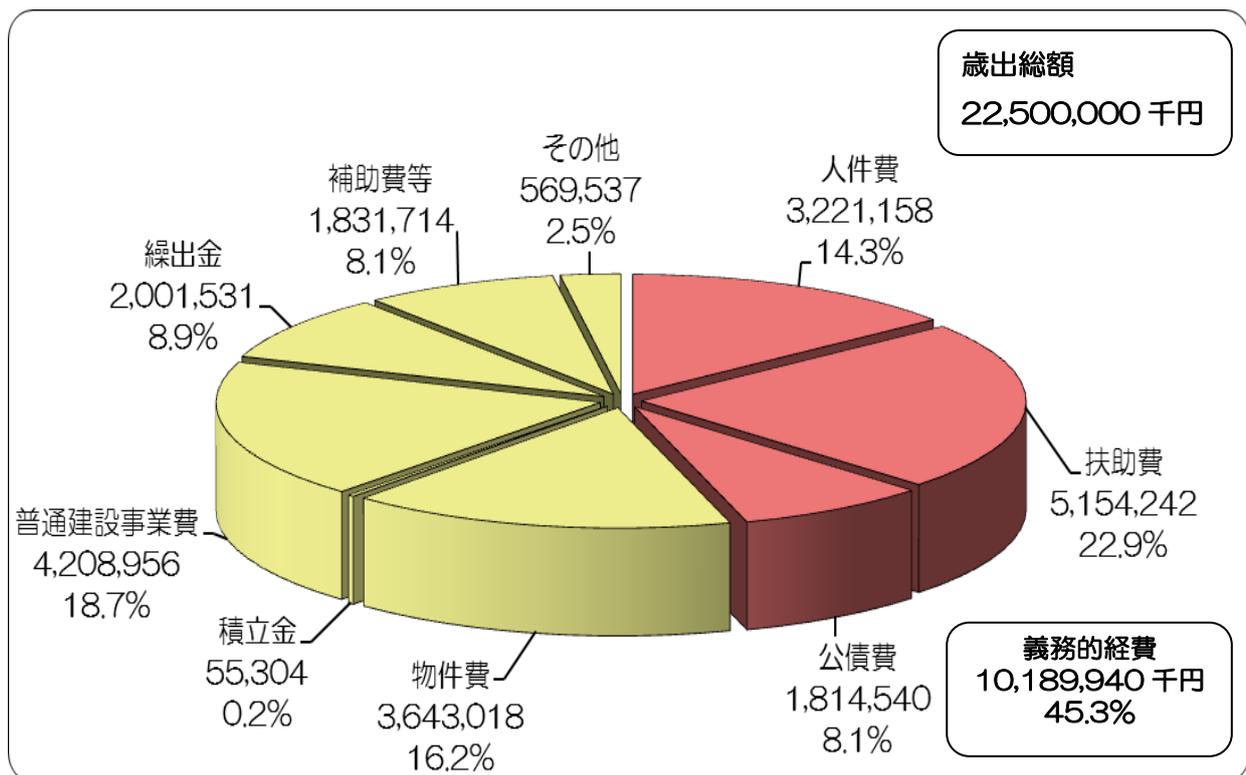
区 分	平成31年度		平成30年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	伸率
人 件 費	3,221,158	14.3	3,124,056	14.4	97,102	3.1
うち退職手当	131,438	0.6	97,741	0.5	33,697	34.5
公 債 費	1,814,540	8.1	1,788,280	8.2	26,260	1.5
扶 助 費	5,154,242	22.9	5,080,744	23.4	73,498	1.4
義務的経費計	10,189,940	45.3	9,993,080	46.1	196,860	2.0
物 件 費	3,643,018	16.2	3,519,754	16.2	123,264	3.5
維持補修費	138,723	0.6	144,320	0.7	▲5,597	▲3.9
補助費等	1,831,714	8.1	1,884,581	8.7	▲52,867	▲2.8
積立金	55,304	0.2	56,258	0.3	▲954	▲1.7
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
貸付金	318,400	1.4	324,700	1.5	▲6,300	▲1.9
繰出金	2,001,531	8.9	1,961,018	9.0	40,513	2.1
普通建設事業経費	4,208,956	18.7	3,727,389	17.2	481,567	12.9
補助事業	1,996,355	8.9	1,227,498	5.7	768,857	62.6
単独事業	2,074,144	9.2	2,360,126	10.9	▲285,982	▲12.1
県事業負担金	138,457	0.6	139,765	0.6	▲1,308	▲0.9
災害復旧事業経費	30,000	0.1	18,000	0.1	12,000	66.7
予備費	82,414	0.4	70,900	0.3	11,514	16.2
合 計	22,500,000	100	21,700,000	100	800,000	3.7

※構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合わない場合があります。

《一般会計歳入予算の財源別構成》



《一般会計歳出予算の性質別構成》



Ⅲ 新年度主要施策の概要 (★は新規事業)

1 【健康福祉】元気あふれる「まち」と人に優しい「さと」づくり

- ◎健康づくり・食育推進事業【健康増進課】 11,970千円
- ・市民が生涯にわたり健やかな生活を送ることができるよう、健康づくりを推進するとともに、健康ウオーキングを市民総参加型の活動に広げます。
- ★市民の歯科保健への意識の高揚を図るため、歯科保健講演会を開催します。
- ★誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、「自殺対策計画」を策定します。
- ◎国民健康保険事業【保険年金課】 5,365,000千円
- ・国民健康保険は、医療費の適正化や国保税の収納率向上を図り、健全で安定した事業運営に努めるとともに、被保険者の負担が増えないよう、国民健康保険基金を活用し、保険税率を据え置きます。
 - ・保健事業は、「第2期データヘルス計画」及び「第3期特定健康診査等実施計画」に基づき、特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施率の向上を図り、効果的な生活習慣病対策を行い、被保険者の健康保持・増進に努めます。
- ★再犯防止推進計画策定業務【長寿社会課】 295千円
- ・罪を犯した人が社会で孤立することを防ぎ、社会復帰に向けた支援や取組を進めるため「再犯防止推進計画」を策定します。
- ◎介護保険事業【長寿社会課】 5,173,000千円
- ・いきいき百歳体操の体験講座を開催し、自主活動の普及拡大を図ります。
 - ・地域における生活支援体制を整備するため、それぞれの協議体において定期的な情報共有・連携強化を図り、地域に助け合い、支え合いを広げるための基盤づくりを進めます。
 - ・在宅での医療・介護の連携を推進するため、周南圏域において整備される周南地域医療介護連携情報システムに地域包括支援センターが参加します。
- ★介護人材を確保し、介護サービスの安定的な提供を図るため、介護事業所の経営者向けセミナーを開催します。
- ・介護保険料について、低所得者の負担軽減を拡大します。
- ◎障害者自立支援事業【福祉支援課】 1,033,217千円
- ・障害者が、安心していきいきと暮らすことができるよう、障害福祉サービス等の支援体制の充実や就労支援と雇用の促進、障害者スポーツや文化芸術活動の推進を図ります。

- ・ 障害者に対する権利擁護の取組を進めるとともに、ユニバーサルデザイン化の推進など、生活環境の向上に努めます。
- ・ 地域共生社会の実現に向け、障害者と家族、支援機関や市民がふれあう交流会を開催し、障害や障害者に対する理解を促進します。
- ★手話を必要とする方が来庁された際に、円滑なコミュニケーションがとれるよう、遠隔手話通訳サービスを導入します。

- ◎子育て支援事業【子育て支援課】 1,632,867 千円
- ・ 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援の充実を図るとともに、次期事業計画を策定します。
 - ・ 家庭児童相談業務については、子ども家庭総合支援拠点としての整備を進め、関係部署との連携強化を図ります。
 - ・ 子どもの医療費助成制度については、所得制限を設けず小学校6年生までを対象とし、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

- ◎子育て世代包括支援センター運営事業【健康増進課】 9,908 千円
- ・ 子育て支援センターと子育て世代包括支援センターの連携を図り、身近な場所で、きめ細かな相談支援が受けられる体制づくりを進めます。

- ◎保育・幼児教育支援事業【子育て支援課】 2,488,591 千円
- ★増加する保育ニーズへの対応として、民間保育園2園、認定こども園1園の新規開設を支援します。
 - ・ 学童保育については、第2花岡児童の家を建設し、受け入れ体制の拡充を図るとともに、利用児童数の多い地域の計画的な増設を進めます。
 - ・ 新制度による施設型給付事業により、幼稚園運営を支援するとともに、認定こども園への移行を推進します。

2 【生活環境】安全安心な「まち」と環境に優しい「さと」づくり

- ◎市営墓地改修事業【環境推進課】 8,313 千円
- ・ 墓地区画の適正管理のため、現地調査や台帳整理を行い、放置区画の返還を促進します。
 - ・ 墓参者の安全確保のため、御屋敷山墓地、大谷第2墓地の法面整備を実施します。

- ◎廃棄物収集運搬事業【環境推進課】 239,731 千円
- ・ 家庭ごみ収集運搬業務は、9コース全部を民間事業者に委託し、継続的かつ安定的な家庭ごみの適正処理を推進します。

- ・ハード・ソフト両面から3R（スリーアール）に取り組み、ごみの減量化・資源化を促進します。

◎公共下水道整備事業【下水道課】 2,816,251 千円

- ・新たに策定する「公共下水道事業経営戦略」に基づき、普及率の向上を図るとともに、市民生活に支障のないよう適切な維持管理に努めます。
- ・汚水処理は、高橋地区、広石地区及び浴地区等の面整備を行い、人口普及率は88.2パーセントとなる見込みです。
- ・老朽化対策は、効率的・永続的な改築更新に向けて、処理場・ポンプ場施設及び管路施設の「ストックマネジメント計画」を策定します。

◎消防防災対策事業【消防本部】 823,845 千円

- ・救急安心センター事業の導入や、救急救命士の養成により、救急体制の充実に努めます。
- ・火を使用するすべての飲食店への消火器設置の義務化や違反防火対象物の公表制度に基づく公表など、予防施策を強化するとともに、住宅用火災警報器の更なる設置率向上を図ります。
- ★中高層建築物等の増加に伴い、はしご車を更新します。

◎防災対策事業【総務課・下水道課・都市整備課】 47,235 千円
 （総務課 26,235 千円）
 （下水道課 10,000 千円）（再掲）
 （都市整備課 11,700 千円）（再掲）

- ・防災の基本である自助・共助を推進するため、防災訓練、出前講座を実施するとともに、自主防災組織の結成や活動を支援します。

- ★災害時における情報伝達手段の多様化を図るため、コミュニティFMを活用した防災ラジオを導入します。

- ★災害種別ごとの避難場所を表示した避難所看

板を設置するとともに、被災者の迅速な生活再建を実現するため、被災者生活再建支援システムを構築します。

- ・避難所における良好な生活環境を確保するため、「災害用マンホールトイレ整備計画」に基づき、豊井公民館にマンホールトイレを設置します。
- ・一時避難場所となる公園においては、ソーラー照明の設置やトイレの洋式化等、防災力の強化に取り組みます。



<防災ラジオ>

◎河川改修事業【土木課】 46,000 千円

- ・河川事業は、高橋川の改修設計、宮本川等の準用河川及び旧普通河川の改修工事、水無川の大規模浚渫工事を実施します。
- ・県事業は、切戸川、坂本川及び玉鶴川の河川改修が実施されます。

◎土砂災害対策事業【土木課】 63,500 千円

- ・土砂災害対策として、若宮地区等のがけ崩れ災害緊急対策事業を実施します。
- ・県事業は、時宗地区の急傾斜地崩壊対策、奥迫地区、東豊井地区の砂防ダム建設等が実施されます。

◎浸水対策事業【土木課・下水道課】 808,600 千円
(土木課 5,000 千円)
(下水道課 803,600 千円)(再掲)

- ・浸水対策事業は、公共下水道事業での竹屋川4号幹線工事、竹屋川ポンプ場増設工事、青柳地区、古川町地区及び栄町地区の浸水軽減策を実施するほか、庁内連携のもと恋ヶ浜地区、豊井地区及び末武平野の内水氾濫の早期軽減に努めます。

★安全安心まなぼうさい開催

【総務課・消防本部・生活安全課】 3,000 千円(再掲)

- ・防災や火災予防、交通安全、防犯について体験や学習を通じ、楽しみながら学べるイベント「安全安心まなぼうさい」を開催し、市民の安全意識の高揚に取り組みます。



< 防災フェスタ 2018 車両展示・炊き出し訓練 >

◎防犯・交通安全対策事業【生活安全課】 13,449 千円

- ・計画的に進めてきた防犯灯のLED化を本年度で完了し、夜間の防犯・交通安全対策の充実に努めます。

★ジョギング・ウォーキング愛好者を対象とした地域防犯ボランティアへの新規加入(ランランパトロール隊)を募集し、安全安心な地域社会づくりを推進します。

- ・交通安全対策は、様々な機会を活用し、交通安全教育及び啓発活動に取り組みます。

- ◎交通安全施設整備事業【土木課】 31,220 千円
- 交通安全施設の整備は、カーブミラー等の計画的な建替改修を実施するとともに、通学路の危険箇所の適切な対策を行います。

- ◎消費生活相談事業【生活安全課】 9,856 千円
- 市民の相談窓口として、これからも消費生活センターの機能強化や消費者相談業務をさらに充実させるとともに、増加する若年層を狙った悪質商法被害を防止するため、消費者教育及び啓発活動に取り組みます。
 - 関係機関と連携した「うそ電話詐欺」被害防止に取り組み、高齢者等の消費者被害の早期発見・拡大防止に努めます。

3 【都市建設】 便利で快適な「まち」とみどり豊かな「さと」づくり

- ★都市計画マスタープラン策定業務【都市整備課】 5,000 千円
- 策定から10年を迎える「都市計画マスタープラン」の中間見直しを2カ年かけて行います。

- ◎地籍調査事業【地籍調査課】 25,133 千円
- 地籍調査は、河内（字黒杭、小野）周辺地区の地籍図や地籍簿を作成するとともに、河内（字岡ノ原）周辺地区の地元説明会、調査及び測量等を実施します。

- ◎土地区画整理事業【都市整備課】 130,537 千円
- 中部土地区画整理事業は、12月の換地処分の公告に向けて、換地計画の認可や不動産の登記手続きを進めます。
 - 豊井地区は、豊井区画整理見直し協議会において、「まちづくり整備計画」を作成します。

- ★中部地区住居表示整備事業【都市整備課】 10,000 千円
- 中部土地区画整理事業区域及び周辺地域において、12月に住居表示を実施します。

- ◎道路橋りょう整備事業【土木課】 337,611 千円
- 県道は、徳山下松線の荒神大橋及び切戸大橋の架け替え、瀬越下松線、笠戸島線の拡幅が実施されます。
 - 都市計画道路国道山手線（下松新南陽線）は、拡幅事業が進められます。
 - 市道は、平田昭和通り排水路改良工事、中心市街地の舗装改良工事及び中央線の歩道改良設計を実施します。

- 橋りょう等は、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、下谷幹線米川橋の補修工事を実施します。
- 道路パトロールやボランティアへの材料支給などを実施し、道路の維持管理に努めます。



<下谷幹線【米川橋】>

◎都市計画道路大海線道路新設事業【都市整備課】 415,913 千円

- 都市計画道路大海線は、道路新設へ向けて、平田昭和通りと県道下松鹿野線の区間の用地取得、建物補償等を行います。

◎公共交通対策事業【企画財政課】 69,051 千円

- ★「地域公共交通網形成計画」に基づき、コミュニティバスを活用したタクシー事業者等市有償運送（米川地区）を開始します。
- コミュニティバス運行の拠点となる菅沢バス停の改修を行います。



<コミュニティバス「米泉号」>

◎港湾事業（港湾施設県事業負担金・償還負担金）【土木課】 82,622 千円

- 「徳山下松港港湾計画」に基づき、「国際バルク戦略港湾」をはじめとする整備が進められます。
- 海岸高潮対策は、深淵地区の護岸改良工事が実施されます。
- 港湾施設は、本浦地区の防波堤新設事業が進められます。

◎緑地保全・都市緑化事業【都市整備課】 4,698 千円

- 心豊かな人づくり事業として、しだれ桜の写真コンテスト、カサブランカー鉢コンクール等を開催します。
- 花いっぱいのもちづくりを推進するため、下松スポーツ公園・米泉湖周辺等に菜の花、ポピー、コスモス等を育成します。
- 街路樹の適切な維持管理に努め、市道中央線の街路樹リフレッシュ事業として、街路樹の植え替えを行います。



<市道中央線街路樹>

◎水道整備事業【水道課】 2,093,379 千円

- ・水圧・水量の改善のため浴地区、高橋地区、下広石地区及び山田地区に配水管を布設します。
- ・老朽管対策は、生野屋山手線配水管、深浦配水管、東海岸配水管及び恋ヶ浜配水管等の更新を行います。
- ・耐震化対策は、御屋敷山浄水場第一配水池の耐震補強工事を実施します。

◎公園等整備事業【都市整備課】 38,000 千円

- ・安全確保のため点検・修繕等適切な管理を行い、老朽化した遊具やフェンスの改修を進めるとともに、児童遊具や健康遊具を設置します。
- ★「公園施設長寿命化計画」を策定するため、遊具や建物等施設の健全度調査を実施します。
- ・「みどりの基本計画」に基づき、児童遊園等の都市公園への編入など、長期未着手となっている都市計画公園の見直しに取り組みます。

★旗岡住宅建設事業【住宅建築課】 200,000 千円

旗岡住宅建設事業

H31	200,000 千円
H32	470,000 千円
計	670,000 千円 (継続費)

- ・「市営住宅長寿命化計画」に基づき、生野屋市営住宅の建替2期事業として旗岡A号棟の建設工事に着手します。

◎市営住宅改修事業【住宅建築課】 101,300 千円

- ・既存住宅の長寿命化を図るため、改修計画による維持補修工事を実施します。

4 【産業経済】活力のある「まち」と恵み豊かな「さと」づくり

◎農業振興・土地改良事業【農林水産課】 181,189 千円

- ・多様な担い手づくりや荒廃農地解消に努め、地場産農産物の生産量を確保し、学校給食での利用促進など地産地消を推進します。
- ・新規就農者に対しての施設整備や園芸農家に助成します。
- ・特産物の生産や環境保全活動に取り組む活動組織へ支援します。
- ・ため池は、農村地域防災減災事業を活用した大蔵東^{おおぞうひがし}ため池の改修工事をはじめ、適切な維持・管理に努めます。
- ・有害鳥獣の被害防止対策は、防除柵の設置や鳥獣被害対策実施隊による駆除活動を支援します。

◎水産業振興事業【農林水産課】 52,130 千円

- ・水産資源確保のため、たこつぼ投入、種苗放流を実施するとともに、内海^{ないかい}地区水産環境整備事業や海洋ゴミの回収処理等、藻場の回復や漁場環境の改善に努めます。

- ・県や漁業協同組合と連携し、新規漁業就業者の確保・育成に努めます。

◎栽培漁業センター新種苗棟建設事業【農林水産課】 343,000 千円

- ・種苗生産事業における生産数拡大と安定供給や魚食普及などを推進するとともに、新たな観光交流拠点施設として新種苗棟建設事業の早期完了を目指します。

栽培漁業センター新種苗棟建設事業

H29	245,000 千円
H30	732,000 千円
H31	343,000 千円
計	1,320,000 千円 (継続費)



<栽培漁業センター第3生物飼育棟・研修棟 イメージ>

◎産業・商工業振興事業【産業観光課】 347,809 千円

- ・産業活性化・企業誘致推進協議会の活動促進、企業アンケートや企業訪問実施するとともに、「山口県地域再生計画」に基づき、企業誘致活動に取り組みます。
- ★人もまちも企業も活気があふれ、産業の発展につながることを目的に、市内企業ガイドブック「ものづくりのまち くだまつ」を更新します。
- ・工場等誘致奨励制度に基づき、製造業や道路貨物運送業の工場等の設置に対する奨励措置を実施するとともに事業拡大や新規雇用を支援します。
- ・中小企業活性化のため、周南地域地場産業振興センターの研究開発事業を支援します。
- ・中小企業の経営基盤強化を図るため、制度融資の利用促進、保証料補給及び小規模事業者経営改善資金利子補給などを実施するとともに、創業支援事業計画に基づく商工業の活性化を進めます。
- ・商工会議所中小企業相談所に助成し、市内事業者の経営改善を支援します。

◎勤労者福祉対策事業【産業観光課】 41,168 千円

- ・勤労者総合福祉センターの利用を促進するとともに、中小企業の勤労者諸団体に助成し、勤労者の健康福祉や勤労意欲の向上に努めます。
- ・シルバー人材センターに助成し、高齢者の就業や交流機会の確保、生きがい対策の充実に努めます。
- ・勤労者や離職者の生活の安定を図るため、県と協調し、労働福祉金融制度の実施に取り組みます。

◎観光推進事業【産業観光課】

84,396 千円

- ・「下松へ人々を引き付ける魅力あるまちづくり」を推進するため、「観光振興ビジョン」に基づき事業を計画的に進めます。
- ・観光・産業振興推進の核となる組織の構築や機能強化を図るとともに、外国人のモニターツアーや特産品ブランド化に関するマーケティング等を行います。

★クルーズ船下松初寄港に伴う歓迎イベント開催等の経費として、関係団体等で構成する「(仮称)くだまつクルーズ振興協議会」に助成金を交付し、港を中心としたまち全体の活性化と賑わいの創出を図ります。

- ・観光協会等と連携した「“元気づくり”くだまつ総踊り」等の観光イベントの支援や、くだまつ観光・産業交流センターによる各種情報の発信、イベント運営について助成し、観光宣伝活動や知名度の向上に努めます。



<クルーズ船>

5 【教育文化】育ち育てる「まち」と誇りのある「さと」づくり

◎下松小学校建設事業【教育総務課】

621,200 千円

- ・普通教室棟、通級指導教室棟の改築に着手します。

下松小学校建設事業（第2期工事）	
H30	450,000 千円
H31	600,000 千円
H32	500,000 千円
計	1,550,000 千円（継続費）



<下松小学校イメージ図>

◎中村小学校屋内運動場建設事業【教育総務課】

199,200 千円

- ・中村小学校屋内運動場の改築を行います。

中村小学校屋内運動場建設事業	
H30	118,800 千円
H31	199,200 千円
計	318,000 千円（継続費）

- ◎学校環境整備事業【教育総務課】 98,000 千円
 ★豊井小学校、久保中学校のブロック塀改修、久保中学校トイレ洋式化工事を行い、安全安心で快適な教育環境の確保に努めます。
 (H30.3月補正)
- ◎ICT環境整備事業【教育総務課】 43,870 千円
 ・小学校の教育用パソコンの増設、久保中学校、末武中学校のLAN整備工事など、ICT環境整備を図ります。
- ★米川小学校休校関連事業【教育総務課】 3,800 千円
 ・米川小学校は、本年度末で休校となるため、通学用車両購入などの準備を進めます。
- ◎コミュニティ・スクール推進事業【学校教育課】 7,980 千円
 ・次代を担う児童生徒が確かな学力や豊かな心を身につけ、健やかな体で夢や希望をもって未来を切り拓いていけるよう、コミュニティ・スクールの取組を充実させ、社会総がかりで児童生徒の学びや育ちを支援する教育環境づくりに努めます。
- ◎教員補助員配置事業【学校教育課】 30,200 千円
 ・障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育が展開されるよう、教員補助員を増員し支援の充実を図ります。
- ★学校業務支援員配置事業【学校教育課】 1,843 千円
 ・学校業務支援員を各中学校に配置し、学校における働き方改革を推進します。
- ◎小学校・中学校給食センター管理運営業務【学校給食課】 509,699 千円
 ・学校給食は、学校と給食センターで連携して安全で安心な給食の提供に努めるとともに、給食費公会計化の確実な運営を図ります。
- ◎地域教育ネット推進事業【生涯学習振興課】 1,480 千円
 ・社会教育活動の拠点である公民館において、放課後子ども教室や家庭教育学級、三世代交流事業を進め、青少年を取り巻く環境づくり等、地域ぐるみの取組を進めます。
 ★「地域未来塾」を末武公民館に開設し、地域との協働により、中学生の学習習慣の確立及び基礎学力の定着を支援します。
 ・「子育てひろば」を開催し、中学生と赤ちゃんとの触れ合いを通して地域の子育て環境づくりを推進します。

◎心豊かな人づくり事業【生涯学習振興課】

3,185 千円

- ・笑顔の写真コンテストや「童謡フェスタ」などを開催し、笑顔があふれる心豊かな人づくり事業の推進に努めます。
- ・「くだまつ親子の日フェスタ」を開催し、様々な分野や世代を対象とした企画事業や啓発活動を展開します。



<くだまつ親子の日フェスタ>

◎「デジタルアーカイブ」グレードアップ事業【図書館】

6,826 千円

- ・郷土資料デジタルアーカイブ掲載資料の充実を図り、地域の情報拠点としての機能強化と情報発信に努めます。

★歴史資料「秋の^{やわ}夜話」編集発行事業【図書館】

500 千円

- ・市制施行直前の歴史資料「秋の夜話」を編集、発行します。

◎公民館施設整備事業【生涯学習振興課】

147,000 千円

- ・「公民館施設整備計画」に基づき、笠戸公民館の建替え工事に着手するとともに、花岡公民館講堂の基本設計業務を行います。

◎地域活性化推進事業【生涯学習振興課】

1,000 千円

- ★「はつらつママさんバレーボール in くだまつ」を開催し、バレーボールのオリンピックメダリスト等とママさんバレーボールチームとの交流を図ります。

★キャンプ地誘致事業【生涯学習振興課】

2,200 千円

- ・「東京2020オリンピック・パラリンピック」に向けて、機運醸成を図るとともに、ベトナムのホストタウン登録を踏まえ、バドミントン女子のキャンプ地誘致を行います。

◎体育施設改修事業【生涯学習振興課】

417,500 千円

- ・下松スポーツ公園を一体的に管理するため、温水プールを教育委員会に移管し、附属施設管理や球技場芝生管理を指定管理に追加します。
- ★下松スポーツ公園体育館の空調設置工事に着手し、スポーツによる賑わい創出の拠点として環境整備を行います。

6 【地域経営】健全経営の「まち」とみんなで創る「さと」づくり

- ★自治体クラウド事業【情報統計課】 73,205 千円
- ・情報システムを外部のデータセンターで管理・保有するクラウド方式に切り替え、通信回線を通じて山口県下4市1町で共同利用することで、運用経費の削減及び住民票等の証明書コンビニ交付を実現し、住民サービスの向上を図ります。
- ◎市民活動支援事業【秘書広報課】 14,766 千円
- ・自治会活動や集会所設備の整備等を助成し、地域に根差した活動を支援します。
 - ・協働のまちづくりを推進するため、地域と行政の橋渡し役となる地域担当職員制度を導入します。
- ★女性活躍推進事業【人権推進課】 300千円
- ・「第5次男女共同参画プラン」及び「女性活躍推進計画」に基づき、経済団体や女性活動団体等との連携による、就労の場における女性活躍推進講座を開催します。
- ★総合計画策定業務【企画財政課】 6,000 千円
- ・目標年度を 2030 年度までとする、2021 年度からの新たな「総合計画」の策定を、2カ年で行います。
- ★市制施行80周年記念式典【総務課】 4,800 千円
- ・市制施行80周年を記念し、11月2日に記念式典を行うとともに、市の主催や市民との共催による各種記念事業を実施し、節目の年にふさわしい、市の新たな魅力の発信や、更なる賑わいの創出に向けて取り組みます。
- ★市勢要覧・80年のあゆみ作成業務【企画財政課】 5,600 千円
- ・市勢要覧及び下松市のあゆみを更新します。
- ★80周年記念映画活用事業【企画財政課】 4,000 千円
- ・80周年記念映画「くだまつの三姉妹」の上映、DVD製作、バリアフリー化事業を行います。

★がんばる地域応援事業【総務課】

5,000 千円

- ・「鉄道産業のまち」にちなんだイベント等を市民との協働により開催し、交流人口の増加による地域の活性化を図るとともに、下松市の「ものづくり企業」を PR し「知ってもらおう」ことで、下松市で働く人材の確保を図り、持続可能なまちづくりを推進します。



<道路を走る高速鉄道車両イベント>

★公式キャラクター活用事業【企画財政課】

3,100 千円

- ・効果的なシティプロモーションや市政に対する理解促進に向けた公式マスコットキャラクターの活用を図ります。

◎企業等連携協定関連事業【企画財政課】

1,700 千円

- ★郵便局との連携協定を活用し、オリジナルフレーム切手の制作を行います。
- ・包括連携協定を締結した学校、企業等との交流人口の増加等に向けた地域活性化事業を行います。

★ホストタウン交流事業【企画財政課】

1,500 千円

- ・東京 2020 オリンピックに係る「ベトナム女子バドミントン競技」のホストタウン登録を受けたことを契機に、地域住民、留学生、学校及び企業等との連携により、各種交流事業を実施し、地域住民と地域で生活する外国人との相互理解を深めるとともに、「ACT SAIKYO」を通じたベトナムや国内トップ選手と地域住民との交流等により「我がまちスポーツ」による地域の活性化を図ります。

★笠戸島ハイツ再生基本構想策定業務【企画財政課】

5,000 千円

- ・観光振興ビジョンの重点戦略を確実に実行するため、「笠戸島ハイツ」の長期的な活用方法について、面的な施設連携を前提としたハード・ソフト両面からの活用化方針案を検討し、笠戸島をはじめとする下松市の魅力向上と、市の活性化を推進します。

IV 各種指標

基金残高

	平成 29 年度末	平成 30 年度末見込	平成 31 年度末見込	H31-30 増減
財政調整基金	1,912,911	1,445,182	647,061	▲ 798,121
減債基金	763,369	589,811	319,274	▲ 270,537
その他特定目的基金	1,948,054	1,246,350	737,833	▲ 508,517
計	4,624,334	3,281,343	1,704,168	▲ 1,577,175

※定額運用基金（県収入証紙購入基金、奨学金貸付基金）、国民健康保険基金、介護給付費準備基金は含めていない。

※減債基金は、市場公募地方債の満期一括償還に係る積立額（H29年度末 40,000千円、H30年度末 80,000千円、H31年度末120,000千円）を含む。

- ・ 財政調整基金は、800,000千円を取り崩す。（平成30年度は810,000千円）
- ・ その他特定目的基金は、まちづくり推進基金521,175千円を取り崩し、各種事業等に充当した。

地方債残高

	平成 29 年度末	平成 30 年度末見込	平成 31 年度末見込	H31—H30 増減
一般会計	20,278,901	22,183,665	22,982,872	799,207
国民宿舎特別会計	1,941,411	1,875,244	1,808,884	▲ 66,360
企業会計（水道）	3,312,201	3,256,629	3,097,981	▲ 158,648
企業会計（簡水）	142,859	134,303	125,668	▲ 8,635
企業会計（下水）	5,937,775	6,146,493	6,393,597	247,104
計	31,613,147	33,596,334	34,409,002	812,668

※平成30年度は同意額ベース（繰越分含む）。介護保険事業は含めない。

指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
基準財政需要額	8,484,961	8,637,269	8,514,658	8,659,084		
基準財政収入額	7,499,417	7,670,576	7,505,401	7,846,791		
普通交付税決定額	986,391	959,588	1,002,123	803,909		
財政力指数（3ヶ年）	0.875	0.881	0.884	0.892		
財政力指数（単年度）	0.884	0.888	0.881	0.906		
標準財政規模	11,441,066	11,511,432	11,502,635	11,574,795		
経常収支比率（予算）	95.6	99.2	102.4	101.7	104.2	
経常収支比率（決算）	86.4	93.9	89.9			
健全化判断比率	実質赤字比率	-	-	-		
	連結実質赤字比率	-	-	-		
	実質公債費比率	(単年 0.6) 0.2	(単年 1.0) 0.5	(単年 2.1) 1.2	3.2	
	将来負担比率	-	7.0	13.7		
住民基本台帳人口（年度末）	56,366	56,842	56,842			
自主財源比率	57.6	59.9	59.7			

※網掛け部分の指標は、今現在の見込で記載。（本来は決算に基づく指標）

大型事業・拡大事業の内訳等

★は新規事業 (単位：千円)

＜主な投資的事業＞ 項目		予算額
	栽培漁業センター建設	343,000
	第2花岡児童の家建設	143,000
	認定こども園建設補助 ★	228,435
	民間保育園建設補助 ★	307,604
	大海線道路新設	415,913
	中部土地区画整理	120,339
	旗岡住宅建設	200,000
	はしご付消防自動車購入 ★	220,000
	下松小学校建設（第2期工事）	600,000
	中村小学校屋内運動場建設	199,200
	笠戸公民館建設 ★	139,000
	下松スポーツ公園体育館空調設備整備 ★	253,500

新規事業の内訳等36件（うちハード事業3件、ソフト事業33件）

◎…「安全・安心対策」

♥…「魅力づくりの創出」

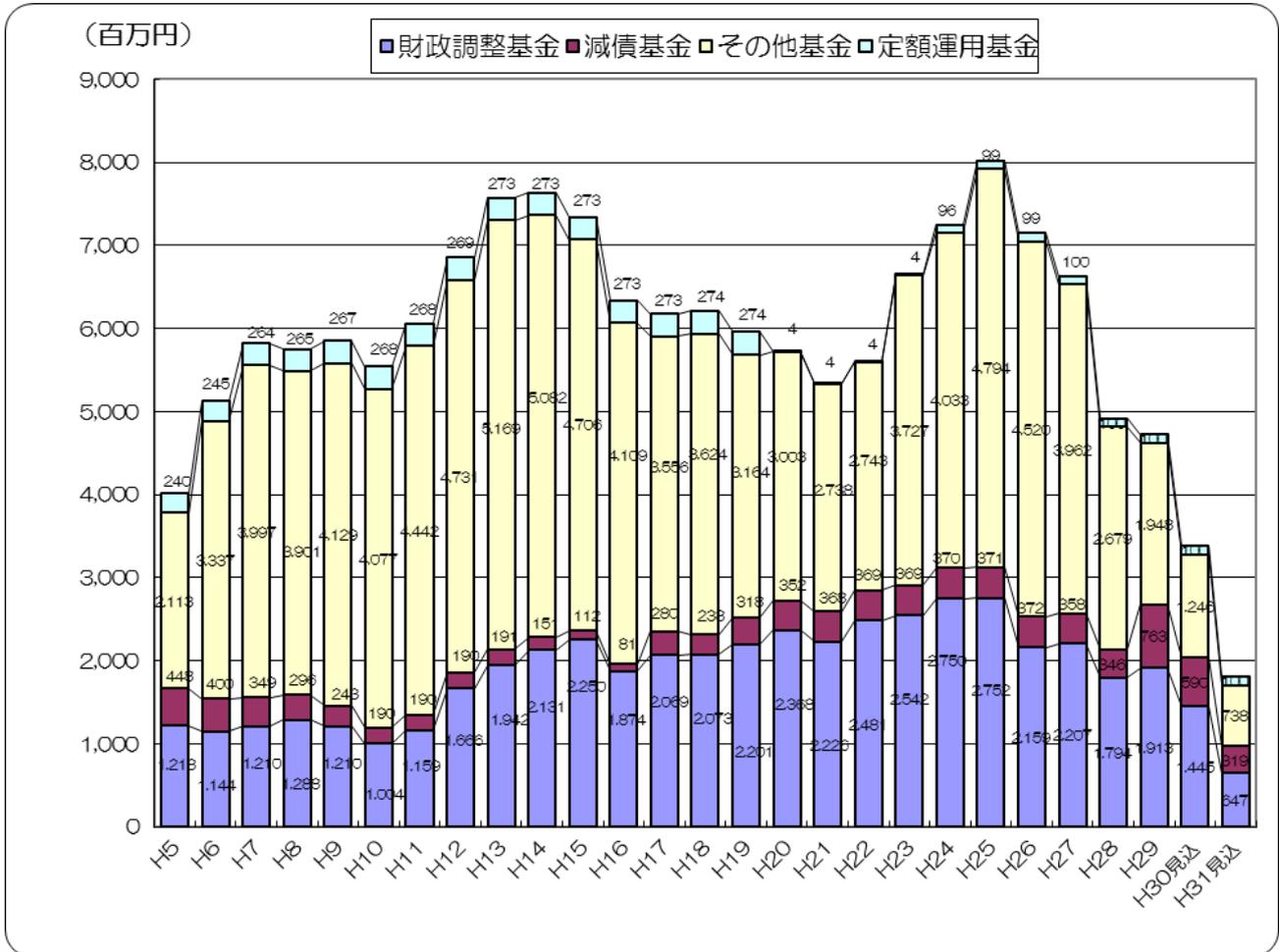
(単位：千円)

＜主な新規事業＞ 項目		予算額
ハード事業	地域交流センター空調設備改修	4,000
	スクールバス購入	3,300
	花岡公民館建設 ◎	8,000
ソフト事業	笠戸島ハイツ再生基本構想策定 ♥	5,000
	笠戸島ハイツ管理	7,221
	避難所看板設置 ◎	1,000
	防災ラジオ整備 ◎	5,940
	被災者生活再建支援システム ◎	286
	総合計画策定	6,000

ソフト事業	80年のあゆみ作成	♥	800
	米川地区コミュニティバス運行		6,600
	自治体クラウド使用料		73,205
	安全安心まなぼうさい開催	◎	3,000
	ランランパトロール隊募集	◎	1,000
	ホストタウン交流	♥	1,500
	公式キャラクター活用	♥	3,100
	市勢要覧作成	♥	4,800
	80周年記念映画活用	♥	4,000
	がんばる地域応援事業負担金	♥	5,000
	市制施行80周年記念式典	♥	4,800
	ご当地ナンバー作成	♥	200
	コンビニ交付証明書発行		2,805
	中部地区住居表示整備		10,000
	再犯防止推進計画策定	◎	295
	訪問入浴サービス		650
	遠隔手話通訳サービス		263
	介護人材確保		210
	女性活躍推進		300
	市内企業ガイドブック作成		1,000
	くだまつクルーズ振興協議会助成金	♥	6,000
	都市計画マスタープラン策定		5,000
	公園施設長寿命化（第2次）	◎	7,000
	救急安心センター（#7119）	◎	1,270
	学校業務支援員配置		1,843
歴史資料「秋の夜話」編集発行	♥	500	
キャンプ地誘致	♥	2,200	

参考

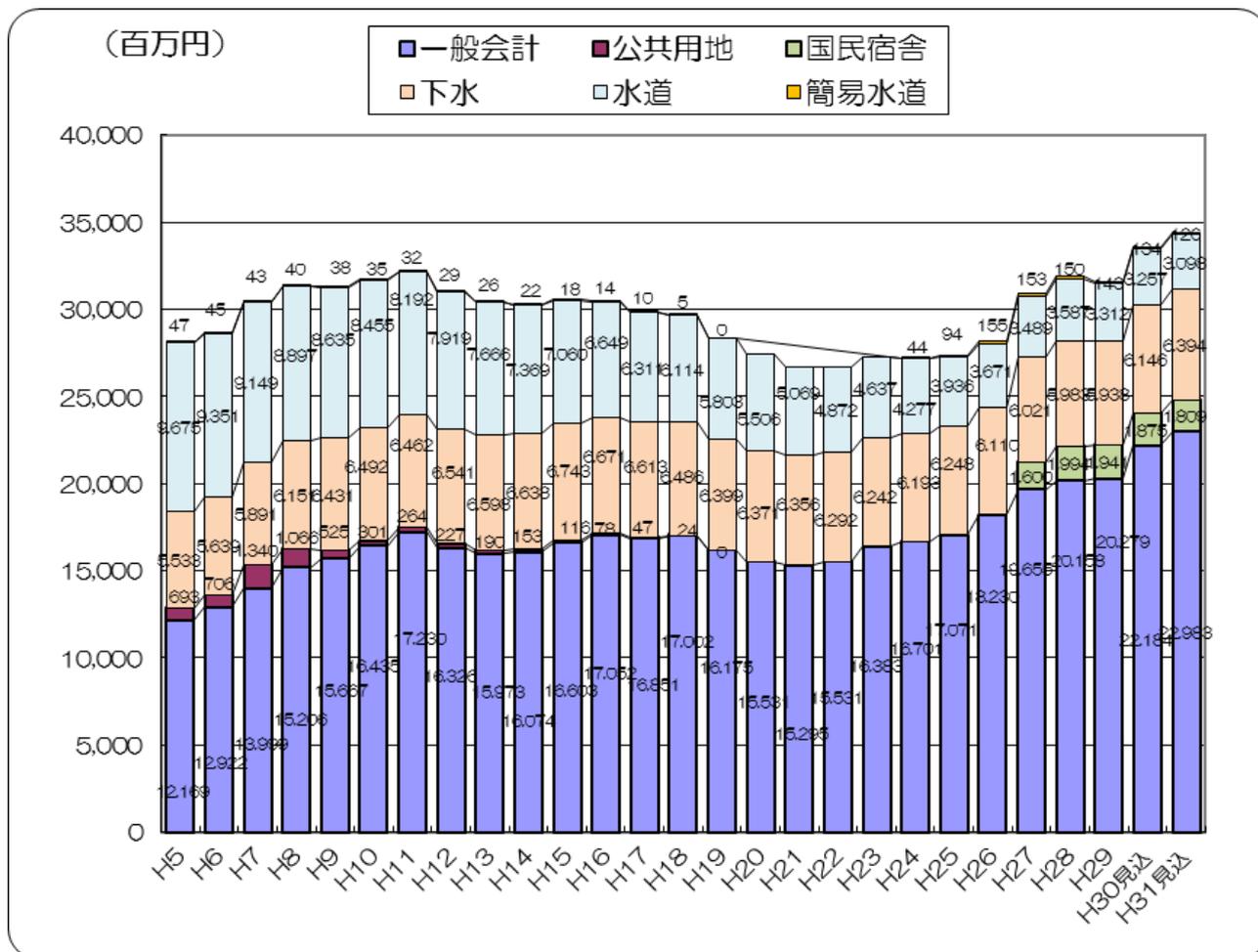
<基金積立金の推移>



(注)・国民健康保険基金、介護給付費準備基金を除く。

・減債基金は、市場公募地方債の満期一括償還に係る積立分を含む。

<地方債の推移>



(注) 国民宿舎特別会計は、市場公募地方債の額を含まない。